

コープで
広がる、
つながる

地域の活動をコーディネートする ブロック委員の 活動を紹介します！

コープみらいは、組合員がさまざまな場に参加し、つながることで、くらしや地域にある声やニーズをもとに地域社会を豊かにする活動を進めています。その活動のコーディネーターの役割を担うのが「ブロック委員」。今回は、ブロック委員の皆さんがどんな活動をしているのかを紹介いたします。



多様で多彩な活動で活躍するブロック委員の皆さん。組合員や地域社会のニーズをもとに話し合い、企画の開催や「みらいひろば（地域の方が交流できる居場所）」など、楽しく充実した活動を進めています

私たちが食べている 野菜のことを 知りたい！

10月4日、朝の雨が嘘のように晴れ上がった畑に「とれたよー」の歓声。この日、千葉1区ブロックが企画する「掘ったことある!? 生落花生」が、農事組合法人 船橋農産物供給センターの生産者、飯島幸三郎さんの畑で開催されました。この企画は「私たちの地域でコープの野菜を作っている生産者さんに会いたい」という声から生まれたもの。ブロック委員2年目の大野浩子さんは、「同じ市内に住んでいても、生産者さんの畑に直接行く機会はありません。私たちも普段食べている野菜がどのように作られているか知れたかったし、他の組合員さんにも生産者さんのファンになってほしいと思いました」と話します。

生産者と 組合員をつなぐ

11人のブロック委員のうち4人がチームを組み、何度も飯島さんと打ち合わせを重ね、チラシや当日のプログラム作成などの準備を進めました。当日はブロック委員全員で進行。子どもを含め37人の参加者が、千葉県特産の落花生「おおまさり」の収穫を体験しました。飯島さんからは「今朝は雨が降って、収穫できるかやきもきした方もいたでしょう。でも農家にとっては毎日のこと。天気は左右されるのも含めて農業です」とのお話があり、参加者は農業の大変さも実感。「手間をかけて作られていることがよく分かりました。おいしい野菜を感謝して頂きたいと思います」の感想とともに、生産者と組合員とのつながりが生まれていました。

ブロック委員1年目

日下清子さん

初めての経験で大変なこともありますが、仕事や家庭だけでは味わえない、学びや体験が多くて新鮮です。ブロック委員同士で意見が尊重され、みんななでつくり上げていく楽しさがあります。

ブロック委員1年目

小島真理子さん

ブロック委員になって生産者さんに会いたいという夢がかない、組合員と生産者との交流の場を企画することができてうれしいです。いろいろな人に出会い、多くの経験ができることが楽しいです。



▲花を見て何の野菜が当てるクイズを出題するブロック委員。参加者に野菜のことを学んでもらいました



▲飯島さん（後列右から3人目）と船橋農産物供給センターの皆さん、ブロック委員の皆さん。生産者の中には台風15号で大きな被害があった方もいたとのこと。この企画も開催が危ぶまれましたが、飯島さんの被害の状況も含めて知ってほしい、との思いから開催を決定しました。そんな生産者の皆さんを応援したい、と大野さんは急ぎよ寄せ書きを準備。参加者に書いてもらい、その場で渡すことで、応援の気持ちをお伝えすることができました

ブロック委員って？

- 組合員や地域の方が参加するさまざまな場を広げ、地域で人と人がつながるネットワークづくりが広がるようサポートするコーディネーターです。
- 「みらいひろば」などさまざまな参加の場のサポートや組合員の自主的な活動を支えたり、地域の諸団体や行政とのつながりづくりなどを行います。
- コープみらいのエリア（千葉県・埼玉県・東京都）を22に分けたブロックを中心に約300人のブロック委員が活動しています。

- 各ブロックのブロック委員が、話し合いながらさまざまな活動を進めています。
- 役割を担っていただくため、活動手当や託児の補助制度、研修などのサポートがあります（コープみらいとの雇用契約ではありません）。



地域で何か できないかな？

10月7日、吉川市中央公民館で開催された埼玉東南ブロックの企画「防災学習会&ローリングストックの簡単調理」。この企画は、ブロック委員会の活動を進める中で行政とのつながりができ、近年災害が多く地域で防災・減災をテーマに学ぶ場ができないか、との思いから生まれました。

ブロック委員6年目の海老沼鈴子さんは、「地域の皆さんから寄せられた声から企画を考え、ブロック委員のみんなで話し合っただけで企画が、『楽しかったわ』『勉強になった』と



▲企画には18人の組合員が参加。防災・減災対策のポイントや、普段の食事に利用する缶詰や乾物、レトルト食品を利用した「ローリングストック」について学びました

「言われるのがやりがいです」と言います。「活動を通して、仲間と一緒にさまざまな経験ができることが楽しいです。これからも、地域の皆さんのためになる企画を開催したいです」と明るく話してくれました。



ブロック委員2年目 立石桃子さん（中央）

組合員活動のことをほとんど知らずにブロック委員になりましたが、先輩がフォローしてくれるので楽しく活動できています。子どもの用事と重なっても「その日は代わるよ」と手を差し伸べてくれるので居心地が良いし、私もそうなりたいです。

ブロック委員は 参加の場の コーディネーター

コープみらいには、組合員が参加できるさまざまな場があります。いつも購入している商品のことを学んだり生産者の方と交流する場や、組合員や地域の人が集まる「みらいひろば」など、くらしの中にあるテーマでコミュニケーションができる場です。

そのような参加の場をコーディネートするのがブロック委員です。生産者や行政、地域の諸団体をつなぎながら、地域で楽しく生き生きと充実した活動を進めています。



▲9月29日に開催された「コープみらいフェスタ 池袋サンシャインシティ」では、東京にある8つのブロックがそれぞれ出展。ブロックで学んだことをもとに展示し、来場者に広くお伝えしました

あなたもブロック委員になってみませんか？

ブロック委員募集説明会を1月に開催します

地域で何かしたい方、人と話すのが好きな方、新しいことにチャレンジしたい方など、ブロック委員に興味のある方は、まず「ブロック委員募集説明会」にご参加ください。ブロック委員の役割や応募方法をご説明します。詳細は、ホームページや地域で配布しているインフォメーション紙をご覧ください。右記までお問い合わせください。

千葉県本部
参加とネットワーク推進部 ▶ 0120-929-068

埼玉県本部
参加とネットワーク推進部 ▶ 048-839-2711

東京都本部
参加とネットワーク推進部 ▶ 03-3382-5665

受付時間 9:00～17:00（土日祝休・2019年12月28日～2020年1月5日は休業）
※お住まいの都県の本部にお問い合わせください

